



# 優秀賞 (居室部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

いにしへの指物師との共作

タイプ

持家共同建

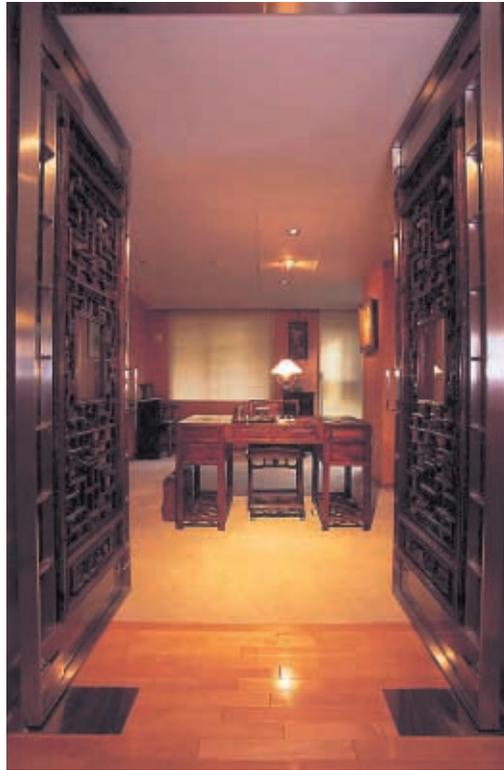
講評

圧倒的な存在感を持つ中国骨董品といかに折り合えるかの格闘のあとがうかがえる。シンプルに攻めたのは正解であろう。欲を言えば、補強の控え壁とフロアヒンジプレートのデザインにもう工夫欲しいところである。

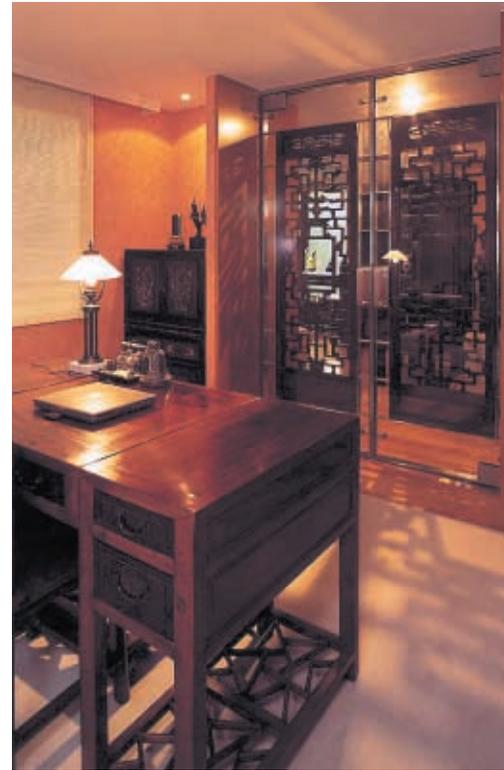


リフォーム前

モダンな空間に溶け込みながらも存在感を発揮するアンティークの家具や建具。シャープなステンレスと凹凸のある古木を組み合わせ一枚の扉に納めた。



①



②

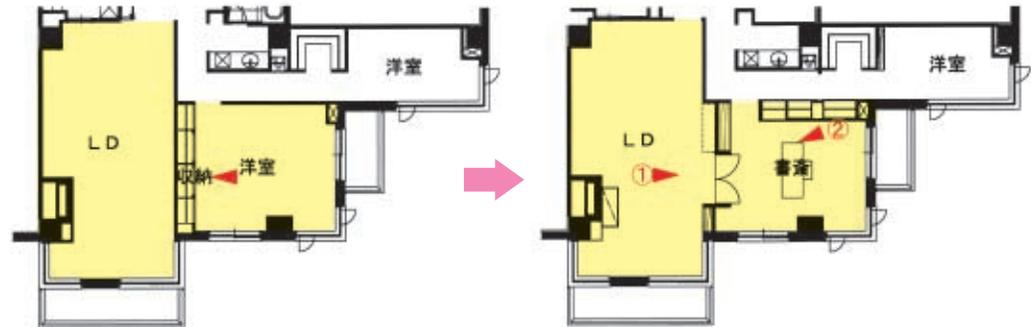
眺める骨董から活用する道具へ。モダンな空間にアンティーク建具を取り込む。

書斎側から見た間仕切りドア。ステンレスの枠をできるだけ細くすっきりさせるため、ポイントフィックス(中高層の建物で使用する材料)を使ってガラスを止めている。

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など	
〈リフォームの動機・要望〉	〈リフォームのポイント〉
1. 趣味の骨董品に合わせたインテリアを工夫したい。 アンティークショップなどで収集した中国古家具、古伊万里、建具格子などを愛でながらつくり上げる空間にしたい。	1. リビングと書斎の間の収納をなくし、ここに中国の古い建具格子をはめ込んでデザインした間仕切りドアを設置した。
2. リビングと書斎をひとつながりにした空間をつくりたい。	2. 古くて重厚な格子の意匠をモダンなマンションに溶け込ませるため、間仕切りドアの素材はステンレスとガラスを採用。ステンレス枠を細くして格子の存在が浮き立つようにした。
	3. 取り外した元の間仕切り収納は廊下側に移動して再利用した。

特に配慮した住宅性能:	
データ	
所在地 東京都港区	構造/築後年数 鉄筋コンクリート 造/ 10 年
該当工事面積 61.13 m <sup>2</sup> /総工事床面積 61.13 m <sup>2</sup>	該当部分工事費 443 万円/総工事費 443 万円
居住者構成 15歳以上65歳未満: 1 人/65歳以上: 人/15歳未満: 人/ベット:	
設計者 (株)東急アメニックス	担当者 阿部 順・土屋 敬子
施工者 同上	担当者

リフォーム前      リフォーム後



1/150

1/150